

令和5年12月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和5年12月20日（水） 午前9時30分～9時55分

2. 開催場所 近江八幡市文化会館2階会議室2

3. 出席委員

教育長	大喜多 悦子
教育長職務代理者	安倍 映子
委員	西田 佳成
委員	大更 秀尚
委員	圓山 淳子

4. 事務局出席者

教育部長	田村 裕一
教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	森 茂次
教育部次長兼生涯学習課長	富江 康子
学校給食センター参事	森村 肇
近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
教育部次長兼スポーツ推進課長	太田 明文
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
幼児課長	畑 明宏
教育総務課長補佐	夜野 友昭
教育総務課副主幹	竹浪 雄大

5. 会議を傍聴した者 1人

6. 会議次第

【議案】

○なし

【協議事項】

○なし

【報告事項】

- 12月市議会定例会の質問に対する回答等について
- 令和6年度通学区域の弾力化制度による就学について
- 成人式について

7. 議事の経過

(1) 開会（日程確認）

- ・教育長が12月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について 承認

(2) 会議録の承認

- 11月定例会の会議録 承認

(3) 教育長挨拶及び報告

前回の定例会から今回の定例会までの間に、いろいろと行事があったので、それを報告させていただく。

野馬追の里健康マラソン大会ということで、中学生が代表で各校1名ずつ福島県南相馬市に訪問された。1名は他の大会に出るということで、実際は3名で訪問されたが、昨日その報告会があった。3名は、それぞれ中学校1年生2名と2年生1名で、いずれもいい成績でゴールされたという報告であった。また、復興の様子についても、それぞれが目で見えて感じたことを報告してくれた。

12月2日に、10kmを歩く「西の湖ウォーク」が開催された。去年は私も歩いたが、今年は他の公務もあって遠慮させてもらった。当日は、多くの人に参加いただき、西の湖の魅力に触れていただけたと思う。来年4月には、国民スポーツ大会のプレ大会として開催される予定である

それと同じ日に、市の「人権・男女共同参画フェスタ2023」も開催された。今年から、以前からある市の人権フェスティバルと各学区の人権に係る催しものを一緒にして共催で取り組まれ、今後は各学区で毎年開催されると聞いている。今回は1年目で、八幡コミュニティセンターで開催された。子どもたちのポスターや標語等の表彰もあり、出店もされていた。

それから、市の美術展覧会の表彰式もあった。たくさんの作品があったが、受賞者と評価員の先生とが作品について話をし、次の作品に向けて先生の評価を聞く機会を持っておられて、精進している様子が見て取れた。私は代表で表彰させてもらっただけであったが、皆がんばって作品を作っておられて、芸術に対する思いを感じた。

また、「子ども・若者支援地域協議会実務者会議」にも参加した。関係各課や少年センターの職員、教育研究所から森本先生、民間フリースクールの方も来られていたが、それぞれの立場における課題を話し合っていて、市として何ができるか等のかなり突っ込んだ話もあり、非常に有意義な会議になったのではないかと思う。

それから、市議会本会議もあった。個人質問については、後で報告事項として話があるが、先日話題となった不登校の児童生徒に対する支援についても、今後どのようにしていくかということで話に上がった。各小学校の別室にスペシャルサポートルームを設ける予算も計上しており、11校に支援員を置くことも考えているということを知っていただいた。ほかに、いじめ防止の取組や子ども・若者の育成支援等の取組についての質問もあった。小学校全校で生ごみプロジェクトの取組をしてほしいという話もあり、検討はさせていただくが、なかなか難しいと思っている。ほかには、障がい児者への教育を充実させてほしいという話もあった。また、学校の中での緊急連絡網はどうしているかという質問もあり、今後いろいろ検討して進めていかなければならないと思うところもあった。それから、学校の体育館に空調設備を、という話もあった。体育館は避難所としても利用されるからということで、草津市がこれから取り組まれるようだが、近江八幡市でもどうかということであった。防災教育という観点から、学校でワンタッチパーテーションの設置等の訓練もされてはどうかということであったが、危機管理課や消防団の方にも来ていただいて説明してもらえればできることもあるかもしれないので、また校長会等でお話しさせていただこうと思う。

それから、皆様も新聞等でご存じかと思うが、滋賀県もフリースクールへの支援をどうするか考えており、まだ原案の段階だが「しがの学びと居場所の保障プラン」というものを作ろうとしている。12月18日に、県教育委員会事務局の次長や生徒指導・いじめ対策支援室の方、福祉関係の方など5名の方が、近江八幡市が授業料を支援していることについて、その現状と課題を聞かせてほしいということで来られて、私と学校教育課長と生涯学習課長とで対応させていただいた。県の方向性もお話されたが、まだまだ課題も多く、各市の意見等を聞きながら整理していきたいとのことであった。

(4) 議事

●報告事項

◎12月市議会定例会の質問に対する回答等について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

○安倍委員

先程教育長の話にもあったフリースクールの関係だが、新聞に「補助対象としている市町に対して補助する」とあったと思うが、現在どういう状況か。

○教育長

補助金を出している市に対してというより、県全体として授業料の補助を検討されているが、決定はしていない。新聞等に5市町へ支援すると上がっていたが、その他の市町も含めて意見を聴いて回っている段階である。

○安倍委員

他市のフリースクールへ行っている方や他市から市内に来ている方も補助の対象とするのか等、いろいろ考えることがあるかと思う。

○教育長

近江八幡市の子どもたちは、市内にあるフリースクールに行く子もあれば、他市に行っている子もあるが、それぞれ授業料補助はしている。県が考えているのは、その授業料の補助に対して県も補助していくということである。

○安倍委員

市の補助額によるのではなく、一律か。

○学校教育課

今のところ、県は、市の補助の半分を保護者に支援しようと考えている。例えば、本市から東近江市に通っている場合であっても、市は保護者支援をしているので、県はその半分の補助するというように考えている。ただ、まだ案の状態であるので、本当にそれで良いのかを含めて、各市町に聴きに回っている状況である。「保護者支援をしている市町だけに県が補助するのは適切か」という意見も中にはあるようだ。今後整理して、県としての基準を決めていくことになると思う。まだ決定ではない。

○安倍委員

実際の授業料には、高い低いがあるのか。

○学校教育課

もちろん施設によって違う。

運営母体がない所は、保護者からの収入で運営しなければならないことから、かなり厳しいのではないかと思う。

◎令和6年度通学区域の弾力化制度による就学について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】

○安倍委員

8件のうちの1件が沖島小学校ということで、学校規模のことを言っておられる。「落ち着いた環境が魅力的」というのは、島の全体的な地域の特徴として、今後も沖島小学校のあり方は、魅力として求められていくのでは

ないかと期待を持って見せていただいている。

○教育長

沖島に限らず、各学校でそれぞれの特色を考えてほしいということを校長会でも話をした。それが実体として現れてくるように、「〇〇活動をやっています」ということだけではなく、教育的効果として出てくれたらいいと思いながらお話しさせていただいた。また、考えていってくれるものと期待している。

◎成人式について

【事務局説明】…生涯学習課

【質問等】

○教育長

コロナ禍で場所を分けたり、時間を短くしたりしていたが、今度は1時間程度のものになる。

○西田委員

あくまで提案だが、毎年来賓を紹介いただく際に、ほとんどの方は一言お話されると思うが、そのとき可能であればマイクを回していただけるとありがたい。昨年娘が成人式であったが、後から話を聞くと、ステージの声が聞こえなかったとのことであった。時間等の制約もあり難しいかもしれないが、可能であればよろしく願いしたい。

○安倍委員

当日の時間配分の都合もあると思うので、ご検討ということでお願いします。

○生涯学習課

難しいかもしれないが、時間配分を考えながら検討する。

8. その他

9. 閉会 教育長が12月定例会の閉会を宣言